

8-4-37 環境配慮専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 環境配慮専門委員会の開催

専門委員会は12回開催した(面談及びWeb併用方式9回、Web方式3回)。

(2) マネジメントセミナーへの講演

令和5年10月4日に開催されたセミナーでは、「サステナビリティ経営の実践に向けて～アンケート、ヒアリング結果からみた実践例の紹介と取り組み方～」と題して、最初にサステナビリティ経営の考え方を説明し、次に企業の取り組み状況を報告し、「まとめ」では、建設コンサルタントがマネジメントシステムの活用に留意しながら取り組む方向を示した。

「サステナビリティ経営」は、「業務における環境配慮」、「社会貢献活動・企業価値向上」、「持続可能な事業展開」の3点を目指すべき方向とする。環境影響評価が事業による建設時・供用時における環境負荷が環境基準や許容される程度について評価するのに対して、サステナビリティ評価は、社会資本のライフサイクル全体の環境負荷を低減する考え方になる。

「主な企業の取り組み」では、令和4年12月に企業向けに実施したアンケート調査結果からSDGs、グリーンインフラ、カーボンニュートラルに関する具体的な内容を把握した。また、特徴的な取り組みをされている3企業に、①受託業務における環境配慮、②自主事業や社会貢献活動、③持続可能な事業展開等についてヒアリングし、その結果を発表した。

以上をふまえ「まとめ」では、SDGsの活用、QMS/EMS、サステナビリティ報告などの手法やマネジメントシステムに取り入れるべき事項を以下のように整理した。

＜業務における環境配慮＞

グリーンインフラ・カーボンニュートラル関連業務の受託機会の拡大に伴い、業務上でのライフサイクル評価や事業化への提案を重視する。

＜社会貢献活動・企業価値向上＞

身近な社会貢献活動や企業価値向上への活動に配慮して、自律的な活動をSDGsに位置づける。
＜持続可能な事業展開＞

サステナビリティを経営方針として、企業情報を共有するとともに、表彰制度、勉強会を取り入れ、金融優遇策や外部へのPRを進める。

(3) 講演会の開催

令和6年1月10日に、九州大学大学院工学研究院 都市システム工学講座 馬奈木 俊介 教授に「都市交通まちづくりとSDGsに関する基本的な考え方や地域実装」と題して、SDGsに関連する世界の潮流、国内の最新動向、持続可能な社会の構築に向けた建設コンサルタントが果たすべき役割、社会全体や地域に貢献しながら企業価値を高めていくための方法についてお話しいただいた。講演後は、地域においてSDGsやネイチャーポジティブ、カーボンニュートラルなどを実現するにあたって、協会および企業に期待される役割、取り組み方などについて、意見交換を行った。協会本部で13名が対面参加し、98名の聴講者がWebで参加し、各年代からアンケートに多くの意見が寄せられた。

(4) 「サステナビリティ経営の実践と事例」の発行

令和元年～令和5年に実施されたマネジメントセミナーで発表した講義内容をもとにして、サステナビリティ経営に係る基本的な考え方と建設コンサルタント企業の実践例をとりまとめた。「環境配慮の手引き2021」の改正版として、企業活動の参考にしていただくように協会ホームページに掲載した。

2. 次年度の活動について

(1) 特徴的な取り組みを実践している企業にヒアリングして、受託業務や自主事業、社会貢献、企業価値を高める活動、持続可能な新規事業開発の実態を把握し、セミナーで紹介する。

(2) 企業や技術者にグーグルフォームによるアンケートを行い、環境配慮の実態を把握する。

(3) サステナビリティ経営をテーマとした「講演会」を開催する。

(環境配慮専門委員会委員長 荒川 仁)